

道

NO. 131

2013. 1. 10

面接練習でのアドバイスと反省点

面接練習で校長先生、副校長先生から頂いたアドバイスと、面接を受けた本人の反省をまとめました。情報を共有して、改善点などを確認しましょう。

- ・ 礼をきちんとする。
(男子はズボンの縫い目のラインに中指を合わせる。女子は手を前に重ねる)
- ・ 入退室の挨拶をするとき、礼と挨拶を同時にしない
(ありがとうございました。と言ってから礼をする)
- ・ お辞儀をするときは45度の角度でお辞儀をする
- ・ 受験番号→墨田区立向島中学校→氏名 (向島中学校ではなく墨田区立向島中学校という)
- ・ どんな答えにも対応できるようにすること
- ・ 自分の事を言いすぎない (長くならない)
- ・ 質問は一つずつ答える
- ・ 自分が話すときは、聞かれたことだけを答える
- ・ 面接官の人と会話のキャッチボールをする様に、短く、はっきり、結論を言う
- ・ 質問され答えるときに、最初に「はい」と言ってから自分の言いたいことを言う
- ・ 最初に結論をいい、その後で理由を付け加える
- ・ 質問の答えは箇条書きのように短くまとめると聞きやすい
- ・ 自分で書いた言葉をすべて覚えるのは難しい。ポイントだけ頭に入れて話す
- ・ 「わかりません」というのをなくすこと。普段の生活の中で、ニュースなどを頭に入れ意識する
- ・ 語尾を伸ばさない ✓ 「え〜と」が多い / 笑顔で

- ・ 返答に困るとあせって体が揺れてしまって余計に言葉が出てこなくなるので冷静に
- ・ 目が泳ぐから、泳がないように。面接官が男性だったらネクタイの結び目などを見るようにする
- ・ 椅子は自分の左側
- ・ 椅子に深く座り肩のあたりをリラックスする (力を抜く)
- ・ 椅子の前に座るとゆれてしまうので深めに座る
- ・ 「お母さん」ではなく「母」
- ・ (座っているとき) 足はくっつけないで少し開き、手は握って膝の上に置く (男子)
- ・ きちんと考えてから言った方がいい
- ・ 大学の事をもう少し考えた方がよい
- ・ 自分の将来のためにその学部に行きたい具体的な理由
- ・ 大学やその先の人生についても見据える
- ・ 将来やりたいことは、まだなくてもしょうがないからアバウトな感じでこたえてもよい
- ・ 志望動機をもっと考えるべき (複数の高校のパンフレットを並べて比較すると良い)
- ・ 具体的な、その高校を分かるような志望理由だとい
- ・ (志望理由について) 自分の行きたい高校と、同じレベルの別の高校と比べて志望校にしかないものを理由として言う。その高校だけの特徴を具体的に言うとい。
- ・ (得意・不得意教科について) 不得意な教科はどのように勉強しているか
→授業で覚えられるようにしているなどという
- ・ (長所について) 「〜なところですよ」というと自慢しているようになってしまうから「友達などに〜と言われます」と言った方がよい
- ・ (短所について) 「〜なところですよ」だけではなく「〜だから〜して〜できるようにしています」など悪いところだけではなく、悪いところをどのように改善していくかなどもいうと良い。
- ・ 具体的にするとところは自分の体験も言う